

TOTO

ロータンク用金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意	
	強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	修理技術者以外の方は、金具本体内部を分解しない 故障や水漏れの原因になります。
	必ず実行 フィルターを掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	40℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途	一般住宅トイレ用	

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適にお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。

4-1 施工手順

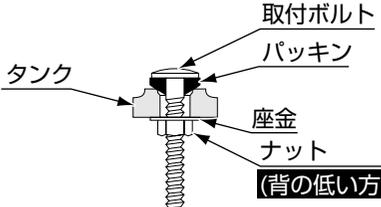
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

1 給水管内の掃除 **重要**

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

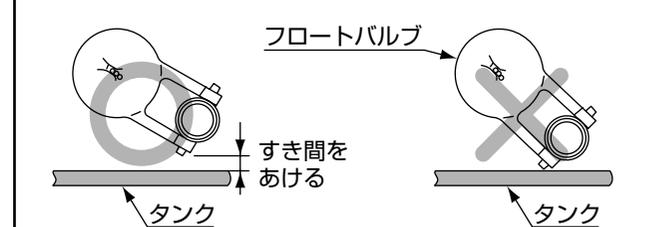
2 取付ボルトの取り付け

(タンク密結タイプのみ)
背の低い方のナットを使用して強固に締め付けてください。



3 排水弁の取り付け

フロートバルブの着脱ができるようにすき間を確保してください。
ボールタップと排水弁の取り合いは裏面を参照してください。

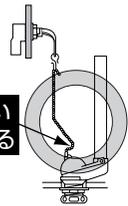


必ず実行

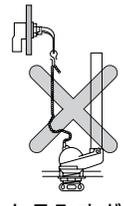
防露層取付部の形状に合わせて取り付けてください。
ずれていると取付不良により水漏れのおそれがあります。
タンク防露層下面部は切り取らないでください。

4 鎖の調節

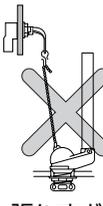
4玉くらい
たるませる



たるみすぎ



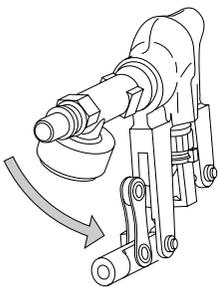
張りすぎ



5 ボールタップ吐水口の方向調節(S151の場合)

S151に取り付ける際は、吐水金具を回して壁側に吐水するように方向を変更してください。
変更しないと取り付けられないことがあります。

この面が水平になるように調節してください。



S520B
(防露層あり)

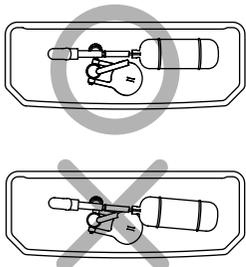


S151
(防露層なし)

6 ボールタップの取り付け

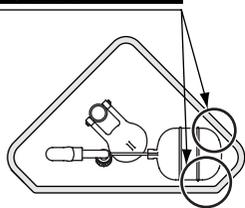
ボールタップがタンクの壁と平行になるように取り付けてください。(S520Bは裏面をご参照ください。)

平付タンクの場合



隅付タンクの場合

浮玉がスムーズに動くかご確認ください。



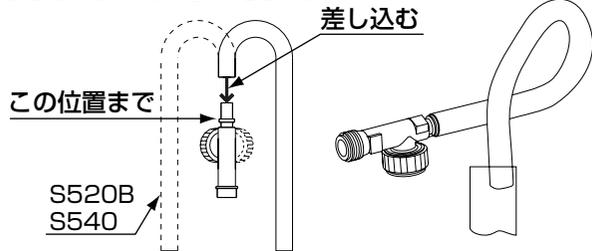
浮玉の取付方法



ロックナットは
確実に締め付けて
ください。

7 補助水管の接続(補助水管付きの場合)

補助水管は、確実に差し込んでください。
ゴム管は絶対に切らないで取り付け、つぶれたり、折れたりしないようご注意ください。



この位置まで

差し込む

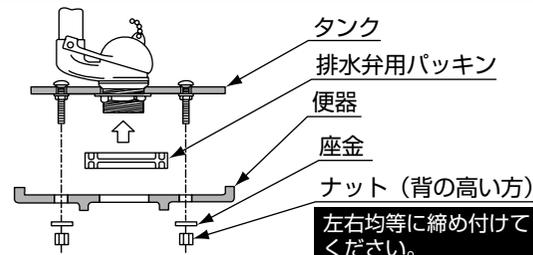
S520B
S540

クリップで
固定する

オーバーフロー管



8 タンクと便器の固定(密結形ロータンクの場合)



タンク

排水弁用パッキン

便器

座金

ナット(背の高い方)

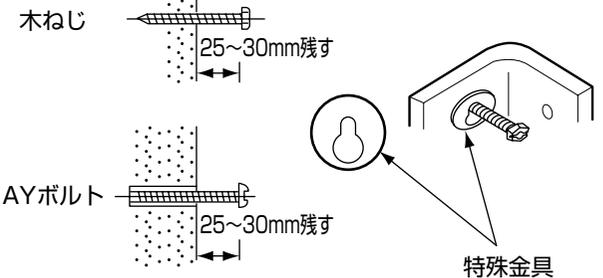
左右均等に締め付けて
ください。

9 タンクの取り付け(密結タンク以外)

- ①タンク穴に合わせて木ねじ・AYボルト位置をけがいてください。
- ②中央側の木ねじ・AYボルト1本を先にねじ込み、タンクを引っ掛けてから木ねじ・AYボルトをねじ込んでください。

(1)中央側の1本をねじ込む。

(2)タンクを引っ掛けて
特殊座金をセットし、
木ねじ・AYボルトを
ねじ込む。



木ねじ

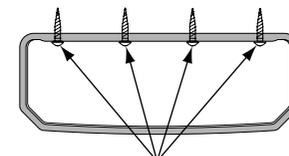
25~30mm残す

AYボルト

25~30mm残す

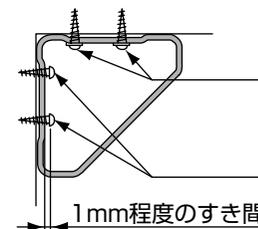
特殊金具

平付タンクの場合



木ねじを強く締め付け過ぎると
タンクが割れることがあります。
木ねじの頭が当たった時点で締め
付けを止めてください。

隅付タンクの場合



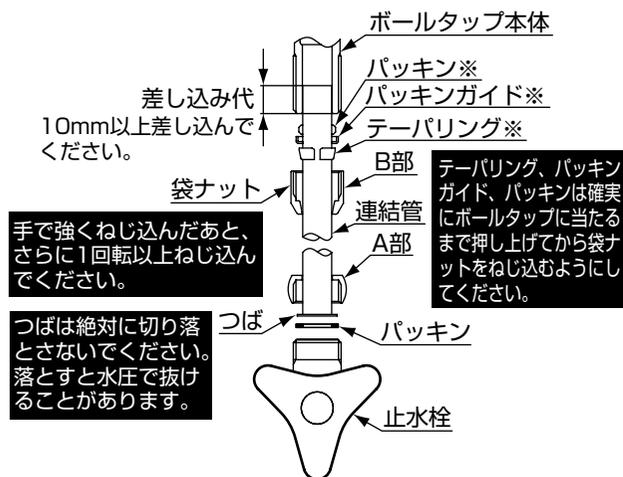
木ねじを強く締め付け過ぎると
タンクが割れることがあります。
木ねじの頭が当たった時点で締め
付けを止めてください。

隅付きタンクの場合は破損防止の
ため片面の2本を1mm程度すか
せてください。

1mm程度のすき間

10 ボールタップと止水栓の接続

A部を先に固定したあと、B部を固定してください。



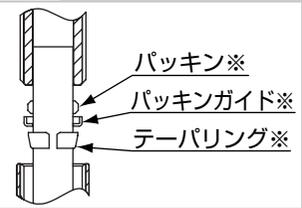
手で強くねじ込んだあと、さらに1回転以上ねじ込んでください。

つばは絶対に切り落とさないでください。落とすと水圧で抜けることがあります。

テーパーリング、パッキンガイド、パッキンは確実にボールタップに当たるまで押し上げてから袋ナットをねじ込むようにしてください。

注意

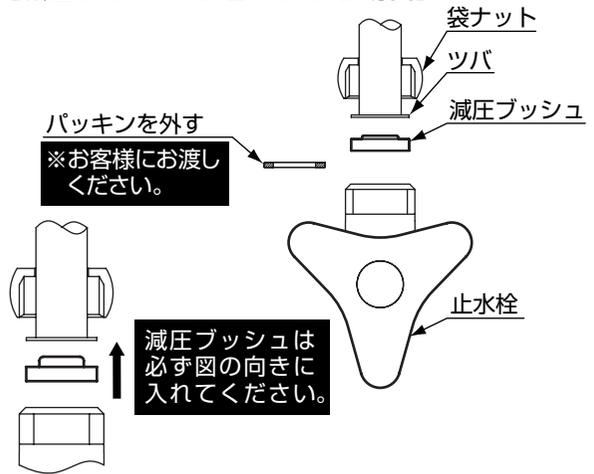
※テーパーリング・パッキンガイド・パッキンの順番・向きを間違えないでください。



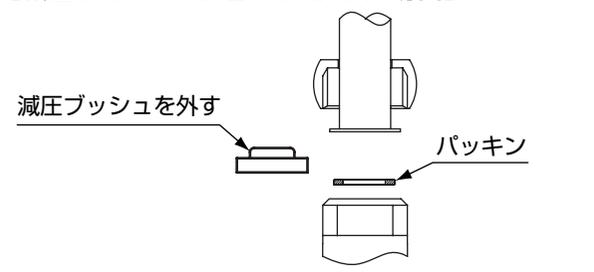
減圧ブッシュの取り扱い

水圧が低く(0.1MPa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎるときは減圧ブッシュを外してセットしてください。その場合、接続部には商品に付属のパッキンを使用してください。減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

[減圧ブッシュをセットする場合]



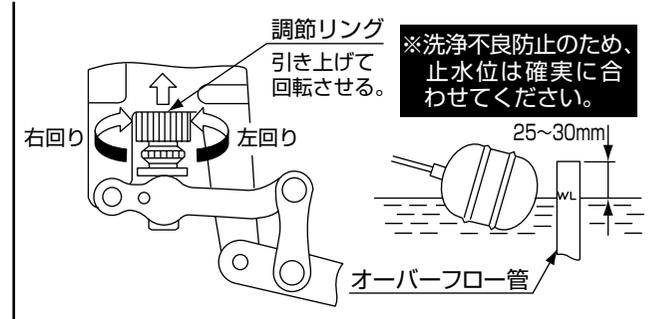
[減圧ブッシュをセットしない場合]



11 水位の調節

タンクの止水水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。WL表示のないものは、オーバーフロー管上端から25mm~30mmで調節してください。

- ①調節リングを引き上げて回すと止水水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。
 - ・上から見て右回し・・・止水水位が上がります。
 - ・上から見て左回し・・・止水水位下がります。
- ②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。

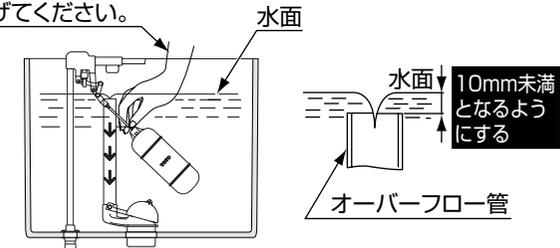


※洗浄不良防止のため、止水水位は確実に合わせてください。

12 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。

手でいっぱい押し下げてください。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

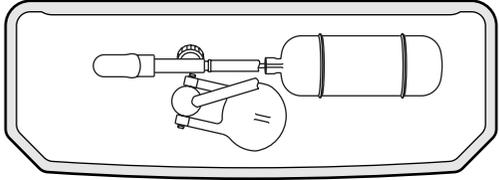
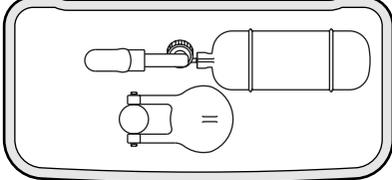
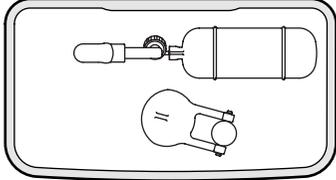
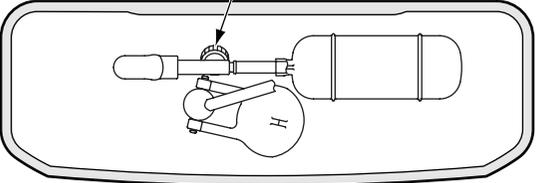
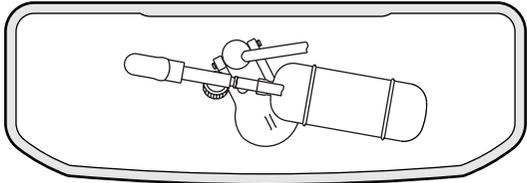
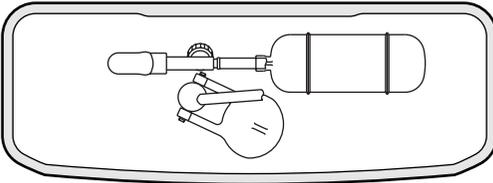
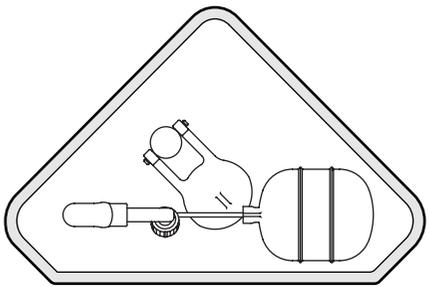
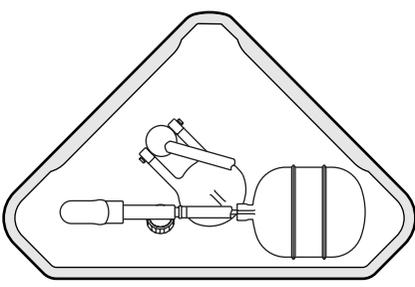
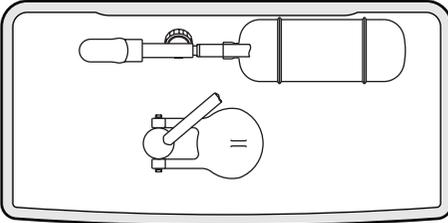
13 取り付け完了後の確認

2~3度操作して、ボールタップの浮玉が干渉しないことや水漏れなどの異常がないことを確認してください。



必ず実行 ボールタップ取り替え時または作動確認時、ボールタップが排水弁に接触する際は、排水弁の位置を調節してください。

5 ボールタップと排水弁の取り付け一覧

タンク品番	S31	S32	S516
ボールタップと排水弁の取り付け			
タンク品番	S151	S520B	S523
ボールタップと排水弁の取り付け	<p>*吐水口の変更してください。</p> 		
タンク品番	S570	S540	S710・S710B
ボールタップと排水弁の取り付け			

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
再生紙を使用しています。